



北海道の先生になろう

～そのチカラ、北海道のミライのために～



令和7年度（2025年度）

北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査

※北海道採用希望者向けの内容です。札幌市採用希望者は、札幌市のホームページをご覧ください。

受付期間 4月8日(月)～5月2日(木)

受検には「Webエントリー」「書類提出」の両方が必要です。詳しくは、3月中に公開予定の実施要領をご覧ください。

結果発表 9月27日(金)

1次検査 令和6年(2024年) 6月16日(日)

会場:東京・大阪・札幌・岩見沢・函館・旭川・釧路

2次検査 令和6年(2024年) 8月2日(金)

会場:札幌・岩見沢・函館・旭川・釧路
～4日(日)

北海道教育庁教職員局教職員課 教員選考検査係 ☎011-204-5726

詳しくは北海道教育委員会のホームページをご覧ください。
<https://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/167104.html>



北海道では期限付教員（臨時的任用）も募集しています 少しでも関心のある方は「任用システム」に登録を！

- ・「教諭」としての任用（経験・年齢不問）です。
- ・「期限付教員特別選考」の受検の道が開きます。（※条件あり）
- ・給与は正規教諭と「同等」です！ 赴任には「引越費用」が支給されます！

北海道教育庁教職員局教職員課 小中学校人事係 ☎011-204-5722

詳しくは教員採用ポータルサイト「臨時教員の募集」をご覧ください。

▼任用システム



▼ポータルサイト



北海道の受検を迷っている方 「働き方改革」や「若手教員の声」をご覧ください

教員一人一人の 働きやすい環境を目指して

北海道では、「教員が、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うこと」を目的として、学校における働き方改革に積極的に取り組んでいます。



学校における働き方改革のページ

詳しくはこちらをご覧ください



若手教員への支援

若手教員が悩みを共有し合う機会を設け、指導主事等による支援に努めています。



専門スタッフの配置推進

教員業務を補助するスタッフや部活動指導員等の配置を進めています。



ICTを積極活用した業務等の推進

校務の効率化のため、ICTの活用の推進に努めています。



部活動休養日等の完全実施

教員の負担が過度にならないよう、全ての学校で部活動の休養日等を設定しています。



部活動の地域移行に係る実践研究

国と連携し、休日の部活動を段階的に地域へ移行する実践研究に取り組んでいます。



勤務時間の客観的な計測・記録と公表

教員の勤務時間の計測・記録やデータの公表を推進しています。

その他：働き方改革手引き「Road」の活用による業務改善、スクールロイヤー制度の導入、学校閉庁日の設定、地域との協働の推進など



高等学校
石狩管内
鵜沼教諭

先輩教員はわからないことを親身になって教えてくれます。

その手厚いサポートのおかげで、新たなことへの挑戦がしやすいです。

後輩教員も非常に頼りになるので、挑戦の後押しをできるような心がけています。

サポート体制



高等学校
釧路管内
岡田養護教諭

同じ分掌の先生など、校内には理解してくれる先生方がたくさんおり、協力しながら仕事を進めています。

養護教諭は学校に1人しかいませんが、同期や前任の先生、近隣校の先生方が優しい方ばかりで、たくさん相談しています。



小学校
渡島管内
木口教諭

自然豊かで多くの教育資源に恵まれた北海道で、協力的な地域の方々と連携して子ども達を見守り、成長を実感することができるのが魅力です。

子ども達が「わかった」「できた」と、目を輝かせてうれしそうにする姿を見ると、やりがいを感じ、もっといろんなことにチャレンジさせたいと強く思います。

教職の魅力・やりがい



特別支援学校
十勝管内
木友教諭

やりがいを感じる時は、やはり生徒の成長を見ることができたことです。

難しかったことやできなかったことができるようになったときに、その生徒と一緒に喜びを分かち合うことに、とてもやりがいを感じます。



中学校
日高管内
深瀬教諭

子どもたちとふれあいながら、日々奮闘していく中で、少しずつ教師として成長できる魅力ある仕事だと思います。

子どもが子ども同士の関わりの中で成長(変化)していく様子を最も近くで見ることができる教師だからこそその嬉しさや、子どもから学びを得たときの尊さを一緒に感じてみませんか！

応援メッセージ



中学校
渡島管内
石井栄養教諭

北海道は食材に恵まれている土地のため、それらを活用した給食や食に関する指導ができることは、とても魅力的な仕事だと思います。

自分が提供した給食を「生きた教材」として活用し、子どもたちに食に関する様々な知識を伝えていきませんか？